

株式会社 堀場製作所

2015年12月期 第2四半期決算説明会

代表取締役会長兼社長
堀場 厚

2015年8月6日

説明内容

- 2015年12月期 上期 決算概要
- 自動車計測事業における買収
- 2015年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元政策
- 中長期経営計画の進捗

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

説明内容

- 2015年12月期 上期 決算概要
- 自動車計測事業における買収
- 2015年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元政策
- 中長期経営計画の進捗

2015年12月期 上期決算概要

売上高～四半期純利益まで上期業績の過去最高を更新

P&L

- ◆ 半導体セグメント、自動車計測セグメントの業績が好調
- ◆ 円安影響で、35億円増収、16億円営業増益

B/S

- ◆ 総資産は▲7億円の2,065億円
 - ・HORIBA BIWAKO E-HARBORへの投資による固定資産の増加
 - ・ユーロ安による円換算での資産減少
- ◆ 自己資本比率は60.8%

CF

- ◆ 利益計上などで営業CF + 101億円
 - ◆ 設備投資などにより投資CF ▲79億円
 - ◆ 配当金支払いや自己株式取得により、財務CF ▲23億円
- } フリーCF: +21億円

2015年12月期 上期連結実績

(単位:億円)

	2014年	2015年			
	上期実績	前回予想(5/11)	上期実績	前年比	vs 前回予想
売上高	679	780	● 776	+14.3%	▲0.5%
営業利益	56	76	● 90	+60.0%	+19.2%
営業利益率	8.3%	9.7%	11.7%	+3.4p	+1.9p
経常利益	51	74	● 87	+70.0%	+18.1%
当期純利益	25	43	● 52	+101.3%	+21.3%

● → 過去最高

2015年12月期 上期連結実績(セグメント別)

(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	2014年 上期	2015年 上期	前年比	2014年 上期	2015年 上期	前年比
自動車	212	239	+26	8	14	+5
医用	135	● 137	+1	9	11	+1
半導体	131	● 190	+59	26	● 51	+24
科学	116	126	+10	0	3	+3
環境	82	81	▲ 0	10	9	▲ 1
合計	679	● 776	+96	56	● 90	+33

説明内容

- 2015年12月期 上期 決算概要
- **自動車計測事業における買収**
- 2015年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元政策
- 中長期経営計画の進捗

MIRA社の概要

事業分野	①車両開発エンジニアリング ②試験エンジニアリング ③研究開発棟のリース・運営
業績	売上高:46.1MGBP(2014年度:約86億円) 営業利益:1.1MGBP(2014年度:約2億円)
従業員数	518名(2014年12月31日現在)
設立	1946年
会社形態	保証有限責任会社(Company limited by guarantee:CLG)
本社	ナニートン Nuneaton, Warwickshire, UK
主要拠点	英国、中国、インド、ブラジル

《円換算は、1ポンド=186.96円(2015年7月10日付レート)で計算》

3つのコアビジネス領域

車両開発エンジニアリング

◆売上高:20MGBP(約37億円) 従業員数:240名

- ✓ 性能試験(車両走行・ブレーキ・対電磁波・衝突安全)
- ✓ ハイブリッドシステムの設計等の技術開発サービス
- ✓ 自動走行や遠隔操作技術等を利用した自動運転車両の技術開発

試験エンジニアリング

◆売上高:22MGBP(約41億円) 従業員数:180名

- ✓ 35の試験棟と自動車試験コースを利用した、衝突安全性/排ガス認証試験などの車両型式認証試験に関する車両検査や型式認証など
- ✓ 英国をはじめ欧州認証機関から委託されたサービスを提供

研究開発棟のリース(MIRA Technology Park)

◆売上高:3MGBP(約5億円) 従業員数:20名

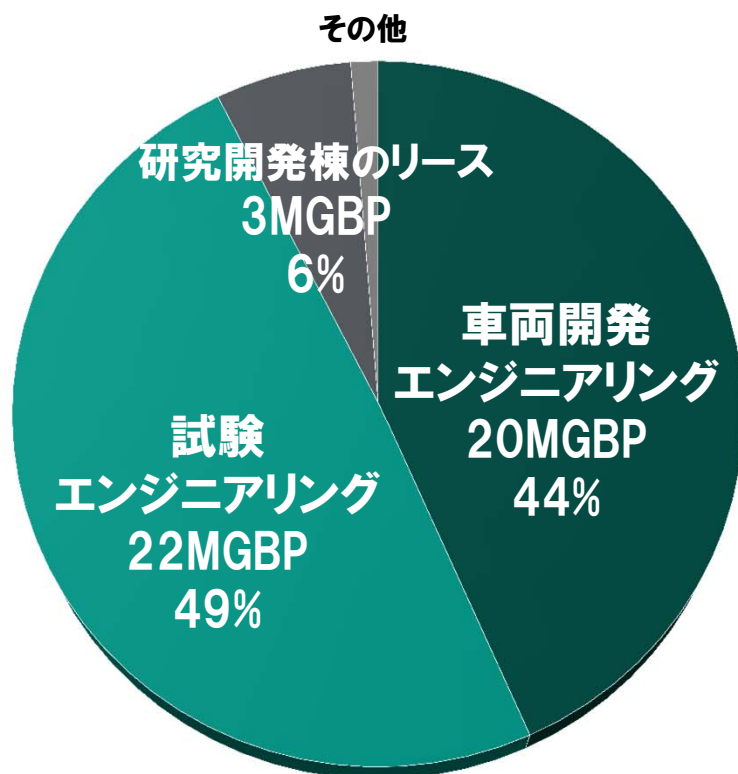
- ✓ 自動車研究企業30社に賃貸
- ✓ 英国政府によるEnterprise Zones*に指定

※ Enterprise Zones
英国政府主導で地域経済開発を進める経済特区。税制優遇などのメリットを享受可能で英国内に24か所設置。

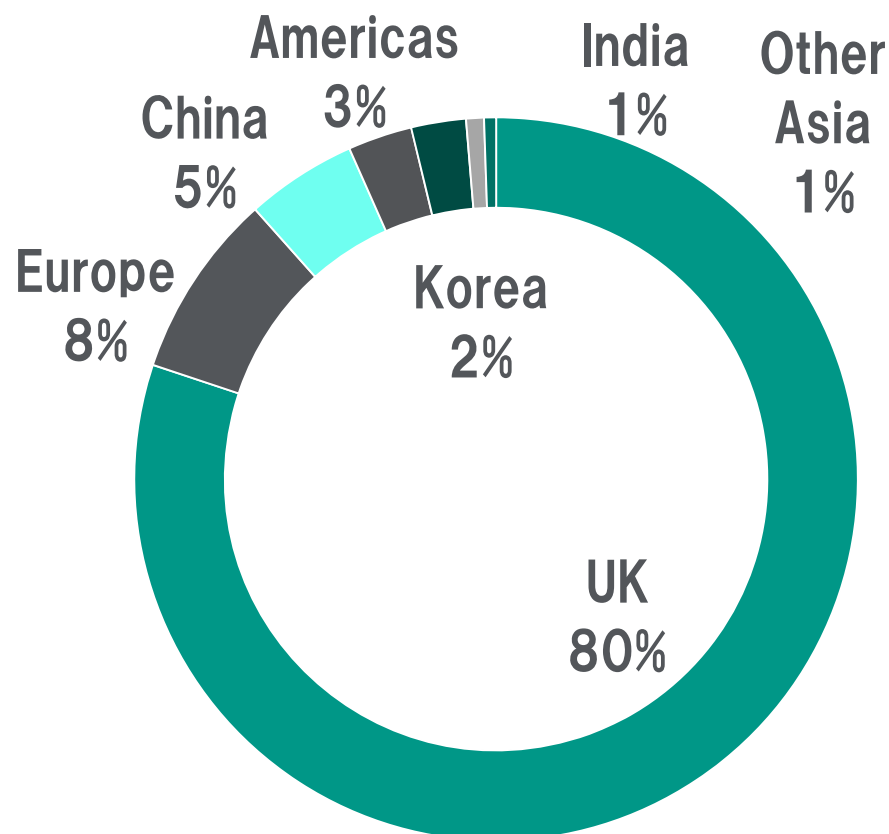
《円換算は、1ポンド=186.96円(2015年7月10日付レート)で計算》

分野別業績(2014年度実績)

事業部門別売上高



地域別売上高



合計 : 売上高: 46.1MGBP (2014年度: 約86億円)

《円換算は、1ポンド=186.96円(2015年7月10日付レート)で計算》

車両開発エンジニアリング

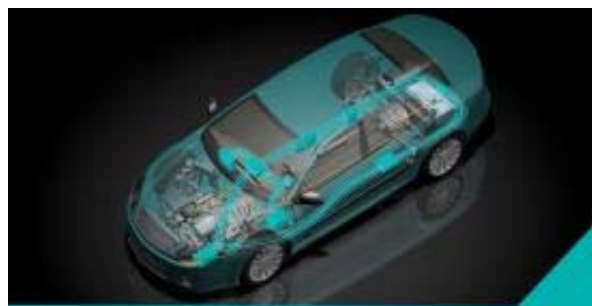
車両開発のすべての領域に対応可能



車両エンジニアリング



車両制御 & 次世代自動車



機能安全



将来の輸送技術

試験エンジニアリング

広大なテストコースを使った各種実験

MIRA Technology Park
顧客30社が入居

試験棟35棟
空力・気候試験 (3)、電磁波試験 (9)
衝突試験、NVH車両試験、バッテリー試験

1km

テストコース
・ハイスピードサーキット (4.5km)
・オフロード
・ウェット試験コース
・市街地サーキット
・騒音測定コース
・各種走破性試験コース
トランスミッション試験
ブレーキ試験
タイヤ開発
耐久性性能試験

MIRA Technology Park

概要

- 現地に拠点が必要な顧客へのリース
 - ・短期のワークショップ
 - ・研究拠点用長期リース目的の建屋
- テナント数:30
- 場所:MIRA拠点内

主要顧客と市場

- 主要な自動車メーカー・部品メーカー
- 欧州の先端テクノロジーと輸送機器市場へのアクセスを求めている世界各国の顧客



所在地に関して

■ 英国自動車産業の中心地であるミッドランド地方に位置

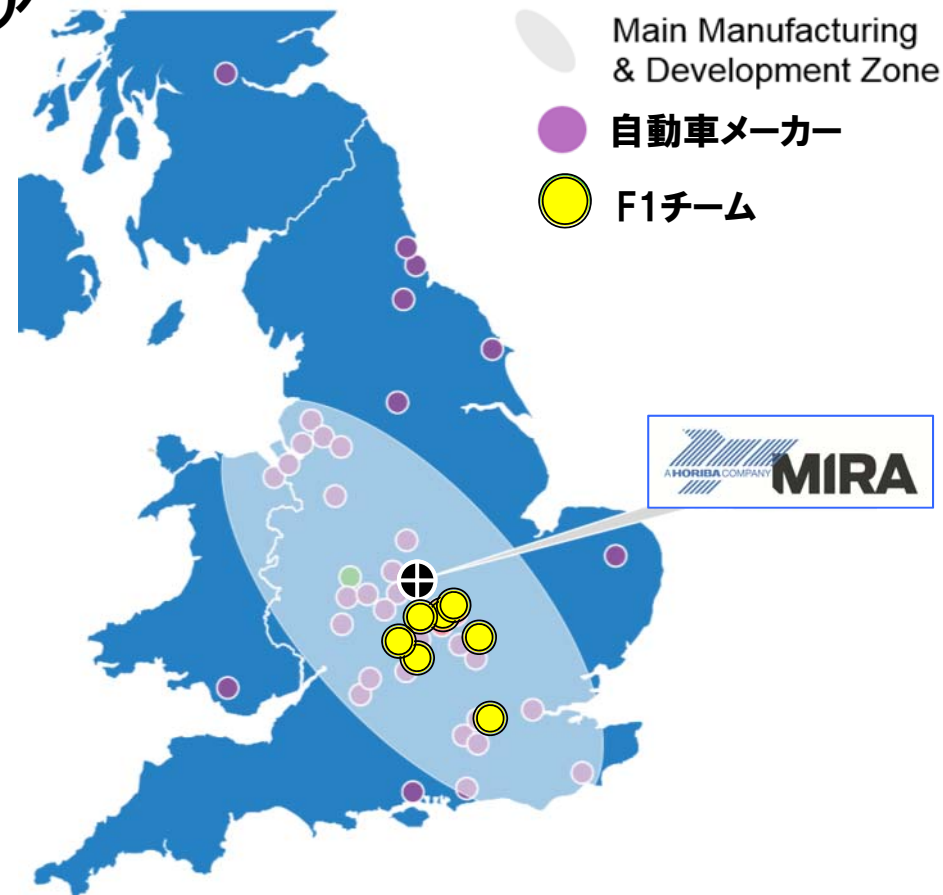
- 32の車両メーカーがこの地方に進出
- 歴史的に車両の先進的技術に強いエリア
=人財の確保に有利
多くのF1チームもここを根拠とする
McLaren, Lotus, Williams...

■ 特定の自動車メーカーグループに所属しない中立的な立場

■ 英国政府の自動車産業・地方創成への強力なバックアップ

主要顧客

Aston Martin, Ford, Jaguar Land Rover,
HKMC (Hyundai Kia Motor Company),
日系主要メーカーなど



両社にとっての将来ビジョン

共有ビジョン：**世界的な持続的モビリティの実現に貢献**

HORIBA
Automotive Test Systems

両社の課題

A HORIBA COMPANY **MIRA**

最新の車両技術／開発ニーズの取得

パワートレインの変化／
将来のモビリティの変化への対応

グローバルでの成長

キーテクノロジー、設備、人財
地理的優位性の最大活用

シナジー

HORIBA
Automotive Test Systems

短期

排ガス/MCTビジネスでの付加価値創出
ソフトウェア開発の強化・情報提供

長期

車両開発全般への活躍範囲の拡大
自動運転等の次世代モビリティ開発

A HORIBA COMPANY **MIRA**

短期

各事業への最先端計測機器の投入

長期

グローバル展開／顧客規模の拡大

既存事業とのシナジー(車両開発分野別)

自動車開発に関する事業分野の全てをカバー

	排ガス 認証	エンジン 開発	駆動系 開発	車両 開発
製品 (排ガス/MCT)	HORIBA	HORIBA	HORIBA	HORIBA
プロセス開発 (ソフトウェア)	HORIBA	HORIBA	HORIBA	
エンジニアリング コンサルティング	HORIBA	HORIBA		

	排ガス 認証	エンジン 開発	駆動系 開発	車両 開発
製品 (排ガス/MCT)				
プロセス開発 (ソフトウェア)			MIRA	MIRA
エンジニアリング コンサルティング			MIRA	MIRA

	排ガス 認証	エンジン 開発	駆動系 開発	車両 開発
製品 (排ガス/MCT)	HORIBA	HORIBA	HORIBA	HORIBA
プロセス開発 (ソフトウェア)	HORIBA	HORIBA	HORIBA MIRA	MIRA
エンジニアリング コンサルティング	HORIBA	HORIBA	MIRA	MIRA



MIRA社買収による損益影響

買収資金： 現金

買収金額： 83MGBP(約155億円)

のれん： 総額約56億円

本年下期影響予想約3億円(のれん5年、無形資産10年で計算)

業績予想： 売上高予想：45億円(2015年下期のみ)

営業利益予想：▲4億円(2015年下期のみ)

2015年通期自動車計測事業売上高予想



《円換算は、1ポンド=186.96円(2015年7月10日付レート)で計算》

説明内容

- 2015年12月期 上期 決算概要
- 自動車計測事業における買収
- **2015年12月期 通期 業績予想**
- セグメント別詳細説明
- 株主還元政策
- 中長期経営計画の進捗

2015年想定為替レートの変更

(単位:円)

	2014年	2015年				
	上期実績	実績				今回予想
		期首予想	1Q	2Q	上期	
USドル	102.46	110	119.16	121.44	120.30	120
ユーロ	140.42	135	134.00	134.20	134.10	130

2015年: 1円円安(円高)による営業増益(減益)額

USドル 1億5,000万円

ユーロ 2,300万円

2015年 下期 HORIBAを取り巻く環境

自動車



国内外の自動車メーカーによる研究開発費は堅調と予想
部品メーカーなど一次サプライヤーからの需要も増加

医用



国内:開業医(小児科)数減少も、法人診療所数は増加傾向
海外:欧州をはじめ全体の景気は低迷

半導体



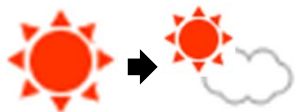
半導体メーカーの設備投資動向
:3Qが堅調に推移と予想するも4Q見通し不透明

科学



国内:円安影響による民間企業の設備投資の回復に期待
海外:欧米の政府予算関連の動向注視

環境



前回予想→今回予想

中国や韓国を中心としたアジア市場で販売減速
→ 下期の煙道排ガス/水質計測の販売増加に期待

2015年12月期 通期業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2014年 実績	2015年 5/11予想	2015年 今回予想	5月11日 予想比	2014年 実績	2015年 5/11予想	2015年 今回予想	5月11日 予想比
自動車	550	640	665	+25	58	60	52	▲ 8
医用	270	285	280	▲ 5	17	18	20	+2
半導体	289	310	350	+40	64	68	90	+22
科学	256	280	280	-	12	13	13	-
環境	164	185	175	▲ 10	20	21	15	▲ 6
合計	1,530	1,700	1,750	+50	172	180	190	+10

2015年12月期 通期業績予想

(単位:億円)

	2014年	2015年		
	実績	5/11予想	今回予想	前年比
売上高	1,530	1,700	1,750	+219
営業利益	172	180	190	+17
営業利益率	11.2%	10.6%	10.9%	▲0.4p
経常利益	164	175	185	+20
当期純利益	105	115	120	+14
一株利益(円)	250	272	284	+34
ROE	8.9%	9.1%	9.4%	+0.5p

説明内容

- 2015年12月期 上期 決算概要
- 自動車計測事業における買収
- 2015年12月期 通期 業績予想
- **セグメント別詳細説明**
- 株主還元政策
- 中長期経営計画の進捗

自動車

2015年上期実績/2015年通期予想

(単位:億円)

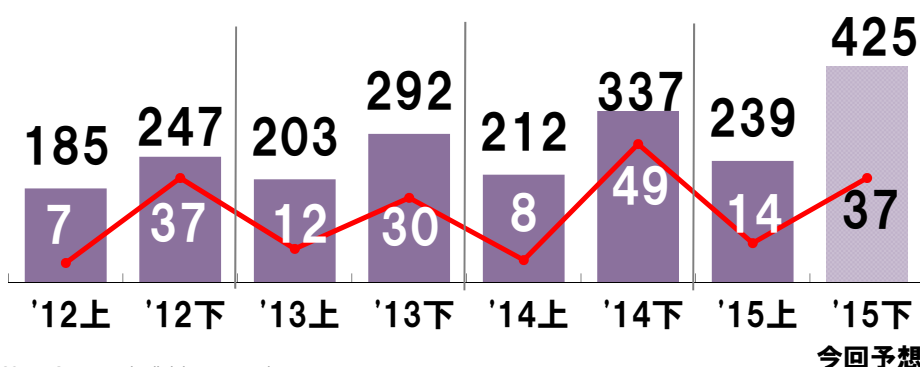
2015年上期実績

排ガス + 日本やアジアなどでの販売堅調 (売上高:156億円)MCT + 日本や米州での販売堅調 (売上高:76億円)ITS - 販売低調 (売上高:6億円)

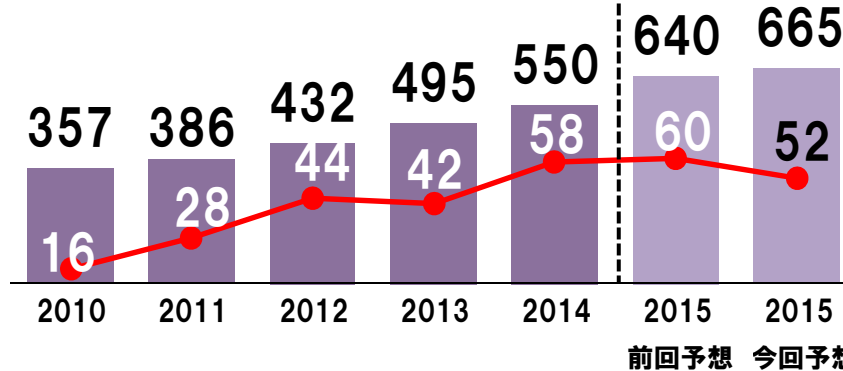
2015年通期予想

排ガス + 年末に向け出荷増 - HORIBA BIWAKO E-HARBORへの移転費用MCT + 前年比販売増 - 欧州にて下方修正。年後半の巻き返しに期待MIRA + 英国MIRA社の買収により売上増 - 買収関連費用とのれんで利益減少

売上高・営業利益推移(半期) ■売上高 ▲営業利益



売上高・営業利益推移(通期) ■売上高 ▲営業利益



自動車

自動車計測事業での2大投資



英国 MIRA社
2015年7月買収
買収金額: 約155億円



HORIBA
Automotive Test Systems

HORIBA BIWAKO E-HARBOR
2016年春本稼働予定
投資総額: 約100億円



自動車 2大投資による事業強化

HORIBA
Automotive Test Systems



HORIBA BIWAKO E-HARBOR
システムソリューションを構成
する製品とツール開発

全領域を網羅する
ソリューション提供

最新車両技術の
ノウハウ提供

MIRA
A HORIBA COMPANY



エンジニアリング
およびテスト

||

**最新の車両技術に
対応するシステムの実現**

||

**最新のシステムと技術により
エンジニアリング能力強化**

2015年上期実績/2015年通期予想

(単位:億円)

2015年上期実績

海外 **-** 円高ユーロ安影響により円換算での欧州売上高減少日本 **+** 3月に発売の自動血球計数CRP測定装置の販売堅調

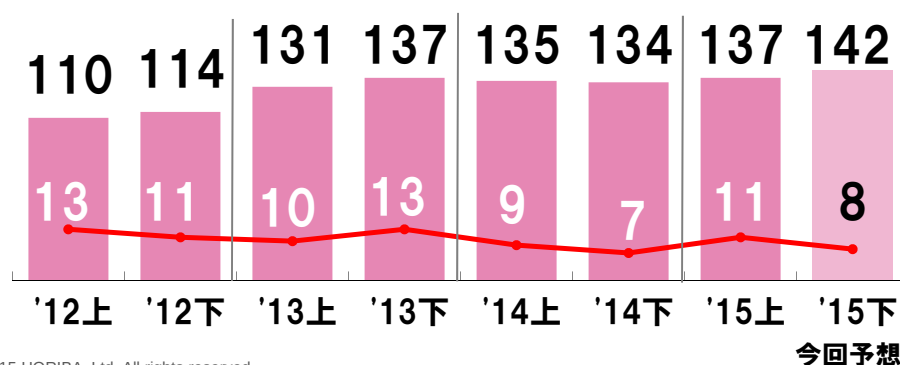
2015年通期予想

海外 **-** 円高ユーロ安影響により円換算での欧州売上高減少

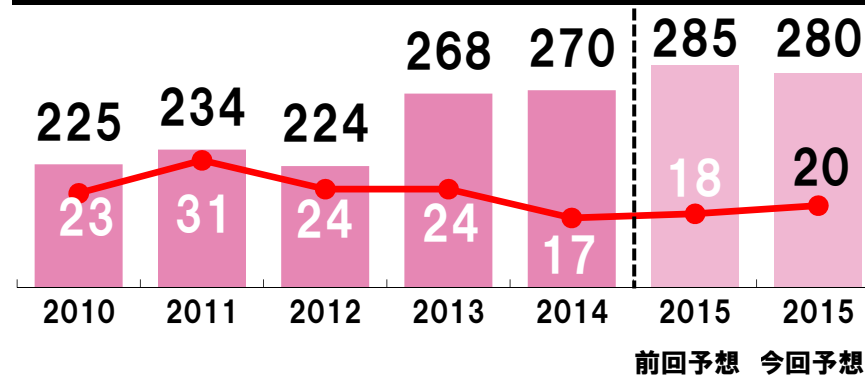
欧州での新製品開発投資継続、新開発センター完成による償却費増

日本 **+** 新製品の販売増加による利益増加に期待

売上高・営業利益推移(半期) ■ 売上高 ▲ 営業利益



売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ▲ 営業利益



医用

研究開発基盤の強化/新製品発売



グローバル展開のための投資

ホリバABX社(仏)開発センター

所在地 : フランス
 完成 : 2015年7月
 投資額 : 約9億円
 目的 : 中/大型血球計数装置開発



中/大型製品

新市場を視野に入れた
中長期的な研究開発の強化



日本国内の新製品発売

血球+CRP同時測定*装置発売

発売 : 2015年3月
 特徴 : 世界最小・最軽量

※ 血球+CRPの同時測定技術はHORIBA特許技術



小型製品



電子カルテ連携ソフト発売

発売 : 2015年4月
 特徴 : 電子カルテに様々な分析機器
を接続可能

・リプレイス需要の獲得
 ・電子カルテ連携による新規顧客獲得

半導体

2015年上期実績/2015年通期予想

(単位:億円)

2015年上期実績

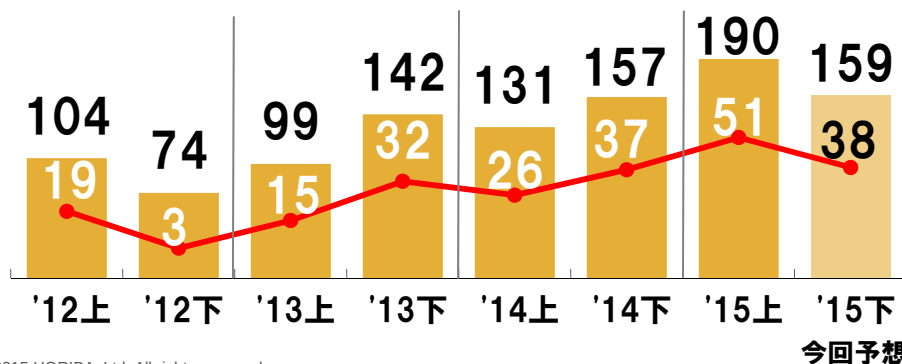
海外 **+** アジアの半導体メーカーの投資拡大により、半導体製造装置メーカー向け販売が堅調に推移

国内 **+** マスフローコントローラーの生産は4月から京都本社にて24時間体制

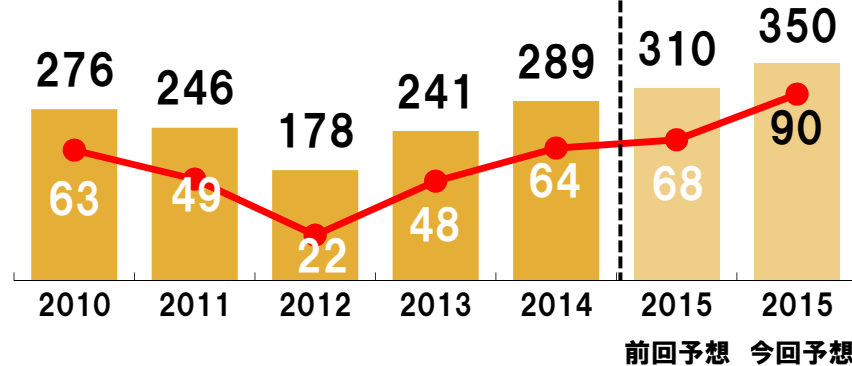
2015年通期予想

海外 **+** 3Q: アジアの半導体メーカーによる設備投資は継続を予想
- 4Q: 見通しは不透明

売上高・営業利益推移(半期)



売上高・営業利益推移(通期)



半導体

地域別概況/マスフローコントローラー市場シェア

(単位:億円)

地域別売上比率 ～2014年通期実績 vs 2015年通期予想～

■ 日本 ■ アジア ■ 中国 ■ 米州 ■ 欧州

2014 113 82 28 45 18 計289億円

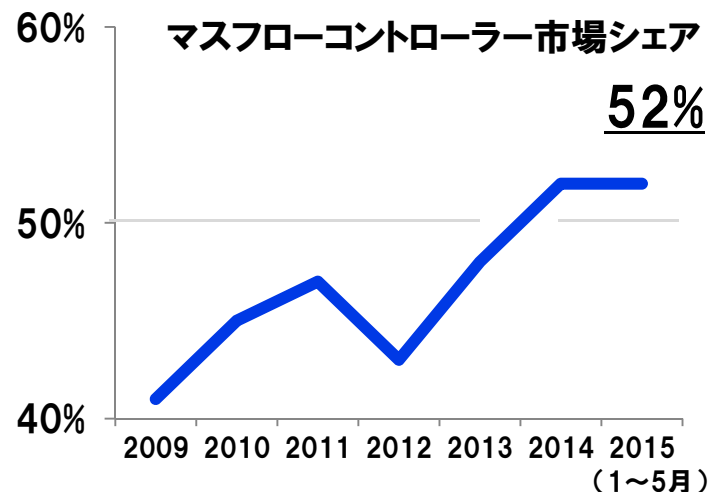
2015 予想 126 98 28 79 19 計350億円

台湾、韓国を中心としたアジアでのデバイスメーカー向けで増収

マスフローコントローラーの市場シェア推移

2015年1～5月 = 52% (2014年通期=52%)

- 新製品が販売増加に貢献し、市場シェア拡大
- 需要減少期の継続投資
→ 投資回復期の顧客ニーズへの素早い対応



2015年上期実績/2015年通期予想

(単位:億円)

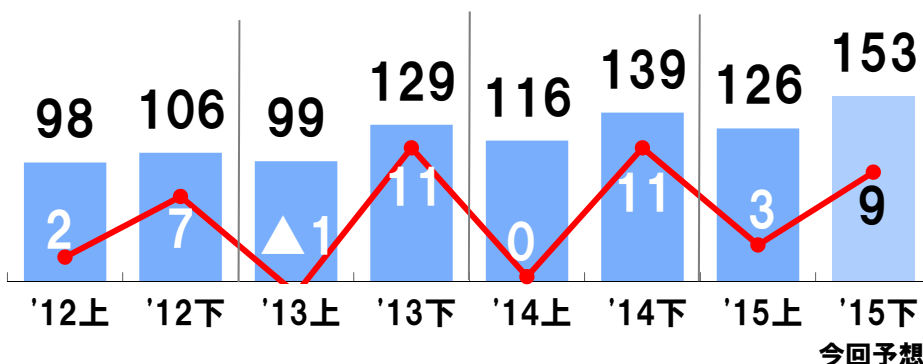
2015年上期実績

海外 **+** 米州にて大学や民間企業向け、中国では大学向けの販売堅調日本 **+** 民間企業向けの販売堅調

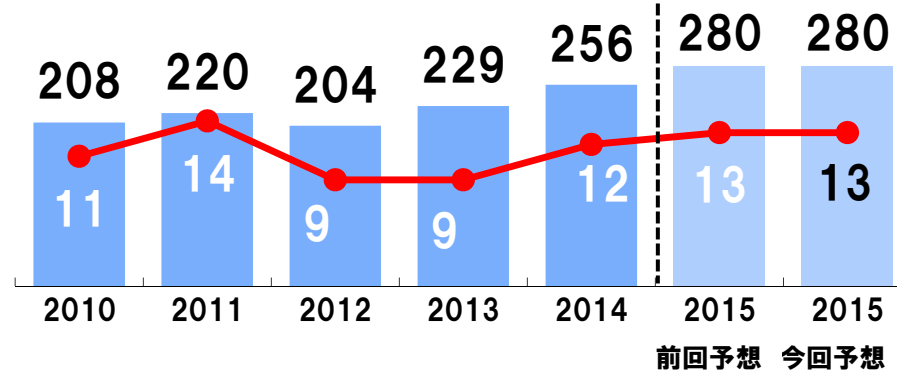
2015年通期予想

海外 **+** 上期から引き続き中国市場でラマン分光測定装置の需要増加を見込む**+** 円安影響によるアジアでの需要拡大に期待

売上高・営業利益推移(半期)



売上高・営業利益推移(通期)



中国市場の動向 / JASIS 2015出展



2015年販売堅調

中国市場向け科学製品の販売堅調

前年同期比 売上高 **1.5倍**

(2014年上期:11億円、2015年上期17億円)

2014年前半

腐敗防止政策
II
受注減少大学など
公的機関で不調

2014年後半～2015年前半

顧客の
発注抑制の反動
II
受注**増加**ラマン分光測定
装置など好調

ラマン分光測定装置



JASIS 2015

JASIS(旧分析展)

「分析機器分野のアジア最大級の展示会」

主催:日本分析機器工業会

日本科学機器協会

弊社ブースで投資家向けツアー開催

日時: 9月4日(金) 午前

場所: 幕張メッセHORIBAブース内

概要: 科学セグメントの製品紹介
直近の市場動向説明

説明: 科学・半導体事業責任者(予定)



JASIS会場事前登録サイト

2015年上期実績

海外 **-** 煙道排ガス分析装置の販売が一時的に落ち込む(中国工場向け)

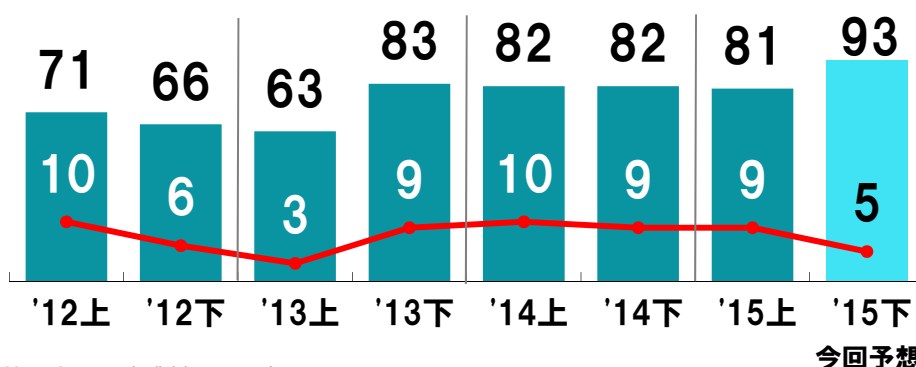
日本 **-** 水質計測機器の販売が低調

2015年通期予想

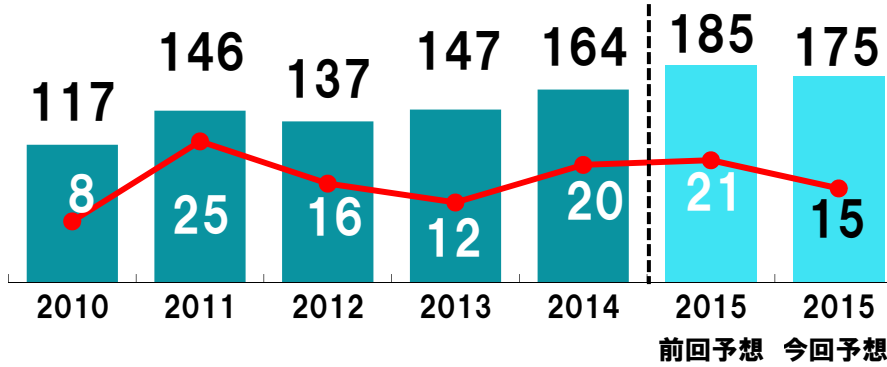
海外 **+ -** 中国での煙道排ガス分析装置などアジアでの需要盛り返しに期待
北米のプロセス計測設備ビジネスは、石油化学メーカーの投資に期待

日本 **+ -** 官公庁や民間向け工業用水質計の販売拡大をめざす

売上高・営業利益推移(半期)



売上高・営業利益推移(通期)

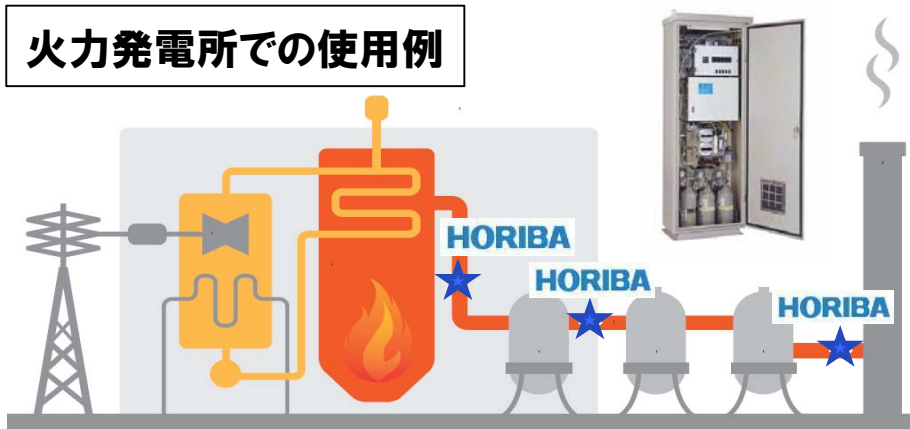


環境

規制市場におけるHORIBA製品の拡がり

規制市場対応ビジネス

火力発電所での使用例



中国にて測定ポイントが増加傾向



製品: 煙道排ガス分析装置

顧客: 電力/石油化学/鉄鋼/食品工場など

特徴: 高精度/安定性/故障率の低さ

半導体市場から
環境・プロセス市場への拡がり半導体事業で築きあげた
HORIBAブランド韓国/中国の
半導体工場での需要取り込み

排水/排ガスモニターの一括受注



工業用水質計



煙道排ガス分析装置

説明内容

- 2015年12月期 上期 決算概要
- 自動車計測事業における買収
- 2015年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- **株主還元政策**
- 中長期経営計画の進捗

株主還元政策

基本的な考え方

- 配当金＋自己株式取得＝連結純利益×30％を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保（設備投資・M&A等）

配当金及び自己株式の取得

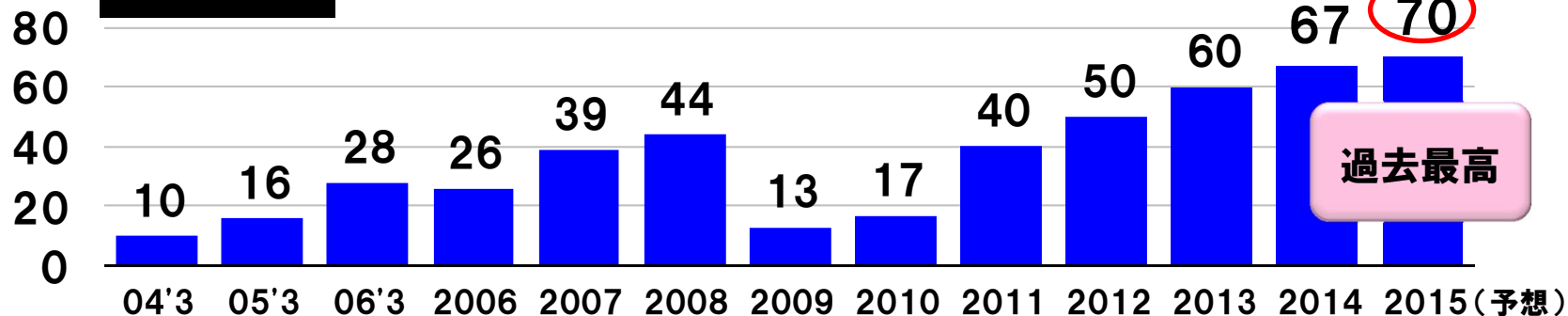
- 2013年実績 60円 [中間18円、期末42円]
- 2014年実績 67円 [中間25円、期末42円]
- 2015年予想 70円 [中間28円、期末42円] +

自己株式の取得実施 (2015年3月)

- ・取得株数21万8,400株
(発行済み株式数の0.51%)
 - ・取得金額9.9億円
- = 総還元性向3年平均約30%

(単位:円)

配当推移



説明内容

- 2015年12月期 上期 決算概要
- 自動車計測事業における買収
- 2015年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元政策
- **中長期経営計画の進捗**

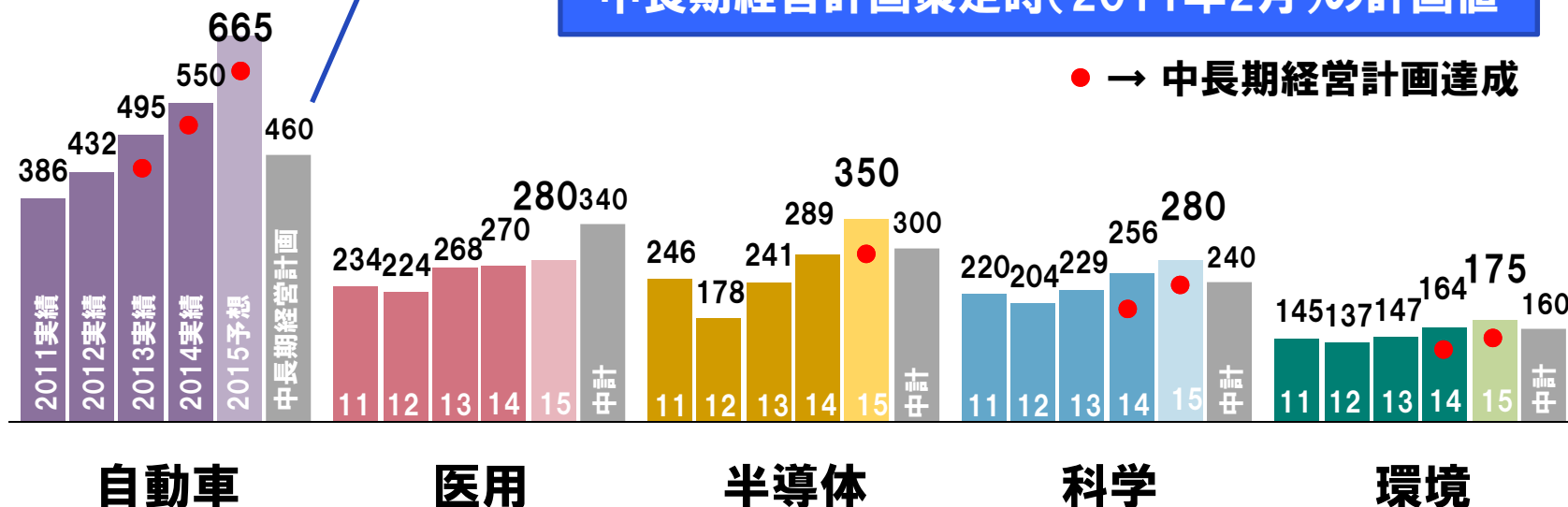
中長期経営計画の進捗

(単位:億円)

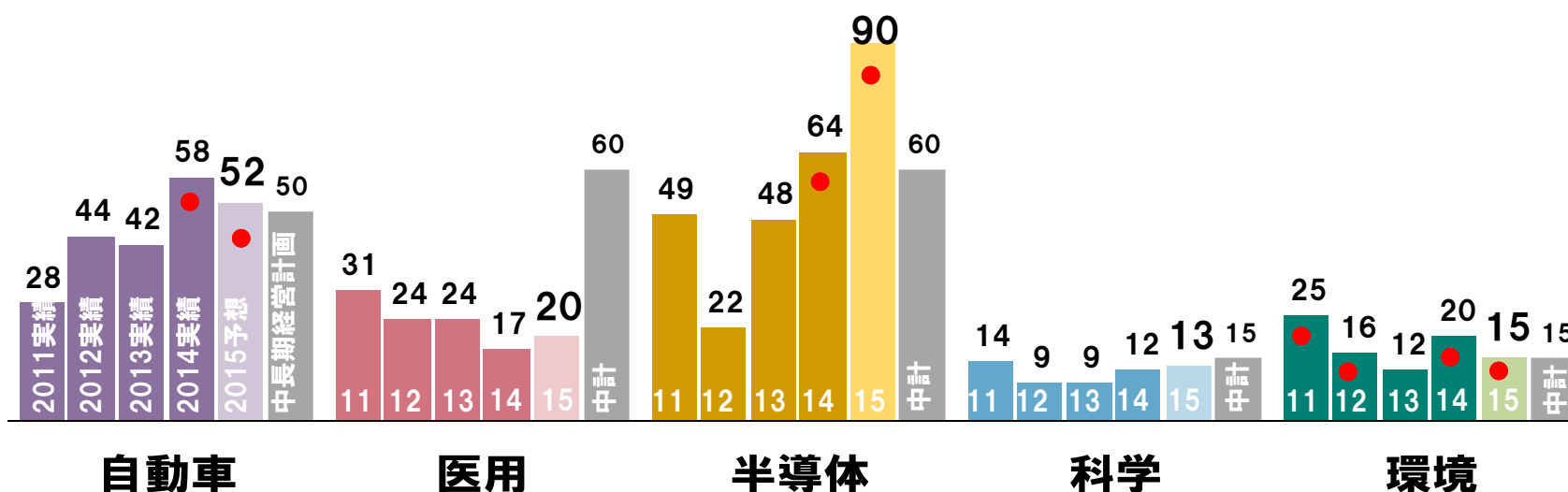
売上高

中長期経営計画策定時(2011年2月)の計画値

● → 中長期経営計画達成



営業利益



次なる成長に向けた投資～自動車/環境～



自動車

英国MIRA社買収(2015年7月)

- 車両開発/試験エンジニアリング、研究開発棟のリース
- 買収額:約155億円
- 減価償却費等:約6億円(のれん含む/2015年度予想)



自動車

環境

HORIBA BIWAKO E-HARBOR (2016年春本稼働予定)

- ガス計測技術の開発/生産拠点の効率化と生産量拡大
- 投資金額:約100億円
- 減価償却費:約3億円(2015年度予想)
(他に移転費用として2015年度に7億円予想)



次なる成長に向けた投資～医用/半導体～

医用

ホリバABX社開発センター(2015年7月)

- 次世代製品の投入めざした新開発拠点
- 投資金額:約9億円
- 減価償却費:約0.4億円(2015年度予想)



半導体

堀場エステック京都福知山テクノロジーセンター(2013年12月)

- 半導体製造プロセス微細化に対応するマスフローコントローラーの開発
- 投資金額:約10億円
- 減価償却費:約0.8億円(2015年度予想)



次なる成長に向けた投資～半導体/全セグメント～



半導体

全セグメント共通

HORIBA最先端技術センター(2015年4月)

- HORIBA製品に使用される半導体センサーの開発/生産
- 投資金額:約30億円
- 減価償却費:約2.1億円(2015年度予想)



中長期経営計画シンボルマーク



はんせん
「帆船はあらゆる風を推進力に変えて航海を続ける」

帆船は向かい風でも前進できる能力を有しています。
5種類の帆(ビジネスセグメント)を効率的に連動させ
様々な風(チャンス)を推進力に変えて
邁進する帆船(HORIBA)をイメージしています。

ご清聴ありがとうございました

☆最新情報はWebでも！

堀場製作所

検索



☆お問合せ先

経営管理部 IR・広報チーム（担当：上杉／安田）

E-mail : ir-info@horiba.com

TEL : (075)325-5003